

令和7年度 地域ケア個別会議 まとめ

(1)検討件数

10件

(2)対象者

支援困難ケース、地域の実情に応じて開催が必要と認められるケース
介護保険認定なし:0件、要支援認定:2件、要介護認定:8件

(3)参加者

本人、家族、地域住民、民生委員、地域福祉コーディネーター、福祉サポーター、自治会長、成年後見人等、医療機関、サービス事業所、砺波圏域障害者基幹相談支援センター、市社会福祉協議会 等

(4)共通した課題

認知症への対応、理解:7件(一人歩き、地域でのトラブル等)
支援拒否:3件(各サービス拒否、医療受診拒否)
精神障害による症状:3件(不安からの地域や関係者への訴えの多さ、アルコール依存症等)
金銭管理ができない:2件(認知機能低下し金銭管理や財産管理ができない)

(5)共通した解決方法

- ・関係者間で情報共有し、役割分担して見守り・支援を行う。
- ・関係者の顔合わせと情報共有を行い、本人への対応方法を統一する。
- ・市役所他課や障害者基幹相談支援センターと連携して対応していく。
- ・金銭管理の不安が見られるようになったら、早めに地域包括支援センターや社会福祉協議会に相談し、財産の保護について検討する。(日常生活自立支援事業、成年後見制度など)